

2003年度(2003年1月1日から
2003年12月31日まで)事業報告書

1. 事業の概要

1-1. 学術の会合

1-1-1. 第58回年次大会

会期: 3月28日(金)~31日(月)

会場: 東北学院大学土樋キャンパス(仙台市青葉区)
東北大学川内キャンパス(仙台市青葉区)

講演数: 3,933件

原著講演 3,679件 シンポジウム講演 203件 特別・招待講演 49件 総合講演 2件

参加登録者数: 5,168名

会員 5,044名(一般 3,350名 学生 1,694名)

非会員 124名(一般 51名 学生 73名)

総合講演: 仙台国際センター(仙台市青葉区)

江崎玲於奈氏「量子論と半導体先端技術—超格子など半導体量子構造の発展」 60分

小柴昌俊氏「ニュートリノ天体物理学の誕生」 60分

1-1-2. 秋季大会

1-1-2-1. 素粒子・核物理・宇宙線関係大会

会期: 9月9日(火)~12日(金)

会場: 宮崎ワールドコンベンションセンター・サミット(宮崎市山崎町)

講演数: 770件

原著講演 687件 シンポジウム講演 62件 特別講演 21件

参加登録者数: 970名

会員 947名(一般 611名 学生 336名)

非会員 23名(一般 8名 学生 15名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: (宮崎)市民科学講演会

佐藤勝彦氏: 宇宙の誕生と未来

小柴昌俊氏: 素粒子と宇宙

会期: 9月13日(土)

場所: 宮崎公立大学講堂(参加者多数のため急速視聴覚教室5室を追加使用)

参加者数: 約1,500名

1-1-2-2. 物性関係を含む上記以外の大大会

会期: 9月20日(土)~23日(火)

会場: 岡山大学(岡山市津島中)

講演数: 3,084件

原著講演 2,905件 シンポジウム講演 148件 特別講演 31件

参加登録者数: 3,756名

会員 3,627名(一般 2,363名 学生 1,264名)

非会員 129名(一般 26名 学生 103名)

ほかに、現地実行委員会企画による以下の一般市民向け講演会を開催した。

企画: 市民科学講演会「科学の土曜日 in 岡山」

北澤宏一氏: 未来のエネルギースステム

天谷喜一氏: 極限環境下の物質—空気が金属になる?

会期: 9月20日(土)

場所: 岡山大学津島キャンパス・創立50周年記念館

参加者数: 約200名

1-1-3. 科学セミナー

セミナー名: 宇宙を見る新しい目

会期: 8月22日(金)~23日(土)

会場: 東京大学弥生講堂一条ホール(東京都文京区本郷)

演題: 10題

聴講者: 181名(会員42名, 大学院生を含む学生72名, 協賛学会および賛助会員21名, 一般13名, 高校教員33名)

1-1-4. 公開講座

文部科学省から科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開発表(B)」の補助を受け、主に高校生、ほか一般市民等を対象に次の公開講座(聴講無料)を開催した。

1-1-4-1. 北海道支部企画

企画名: 21世紀の物理教育: 物理の授業をもっと面白く

会期: 8月8日(金)

場所: 北海道大学理学研究科(5号館)

参加者数: 120名

補助金額: 140万円

1-1-4-2. 理事会企画

企画名: カーボン原子があやなすナノの世界

会期: 10月25日(土)

場所: 中央大学理工学部大講義室

参加者数: 118名

補助金額: 130万円

1-1-4-3. 大阪支部企画

企画名: 物理学が拓くバイオナノサイエンスの新展開

会期: 11月29日(土)

場所: 大阪市立大学学術情報総合センター

参加者数: 91名

補助金額: 150万円

1-1-4-4. 京都支部企画

企画名: 物理の面白さを伝えよう—これからの物理教育を考える

会期: 12月14日(日)

場所: キャンパスプラザ京都

参加者数: 51名

補助金額: 117万円

1-1-5. 国際会議

1-1-5-1. 第15回2次元電子系国際会議

主催: 第15回2次元電子系国際会議(EP2DS-15)組織委員会

会期: 7月14日(月)~18日(金)

場所: 奈良新公会堂(奈良市春日野町)

本会代表運営委員: 家 泰弘氏(東大物性研)

参加者数: 283名

1-1-5-2. 第28回宇宙線国際会議

主催: 東京大学宇宙線研究所

会期: 7月31日(木)~8月7日(木)

場所: つくば国際会議場(つくば市竹園 2-20-3)

本会代表運営委員: 梶田隆章氏(東大宇宙線研)

参加者数: 761名

なお、本国際会議は、本会の共同主催のもと文部科学省から科学研究費補助金研究成果公開促進費「研究成果公開発表(C)」の補助金(1,271万円)を受け、開催した。

1-1-5-3. The 1st International Discussion Meeting on Superionic Conductor Physics (IDMSICP)

主催: イオン輸送研究会

会期: 9月10日(水)~14日(日)

場所: 同志社大学今出川キャンパス(京都市上京区)

本会代表運営委員: 吉門進三氏(同志社大)

参加者数: 45名

なお、上記3件の国際会議を共催した他に、30件の国際会議の協賛・後援を行った。

1-1-6. その他

1-1-6-1. 支部例会、支部特別企画等

本会の10支部において、例会、特別企画等の会合を開催した。

1-1-6-2. 国内会議等の共催・協賛・後援

130件の国内会議等の共催・協賛・後援を行なった。

1-1-6-3. 国立科学博物館、日本物理教育学会との共催事業「自然の不思議—物理教室—」

共同主催: 日本物理学会、国立科学博物館、日本物理教育学会

会期: 6月7日(土)、7月5日(土)、9月6日(土)、11月15日(土)、12月13日(土)

場所: 国立科学博物館新宿分館(東京都新宿区)

1-2. 刊行関係

1-2-1. 日本物理学会誌

第58巻第1号～12号を刊行した。A4変形判, 月刊。
ページ数: 総ページ1,602 月平均133.5ページ(予算150ページ)
刊行部数: 総刊行部数227,500 月平均18,958(予算20,300)

ほかに年次大会・秋季大会のプログラムとして3月号付録139ページ(本文)20,300部と8月号付録147ページ(本文)20,300部を刊行した。

1-2-2. JOURNAL OF THE PHYSICAL SOCIETY OF JAPAN (JPSJ)

Vol. 72 No. 1～13の13冊(No. 13はVolume Index)を刊行した。A4判, 月刊。

ページ数: 総ページ数3,308(Index含まず)月平均Index含まず)276(予算369)
発行部数: 総刊行部数19,200 月平均(Index含まず)1,600(予算1,700)
掲載論文: 本論文390 Letters 136 Short Notes 50 Addenda 3 Comments 2 Errata 5

1-2-3. 講演概要集

A4判 各4分冊

第58回年次大会		2003年秋季大会	
分冊	刊行部数 本文ページ数	刊行部数 本文ページ数	
1	450 132	450 94	
2	1,250 258	1,250 244	
3	1,350 216	1,300 232	
4	1,550 321	1,550 312	

1-2-4. 大学の物理教育

B5判 年3回(3月, 7月, 11月)発行 総ページ数246 1号平均約82ページ 毎号2,300部刊行

1-2-5. 科学セミナーテキスト

8月に開催した科学セミナー「宇宙を見る新しい目」のテキスト A4判 150ページ 450部刊行

1-2-6. 公開講座テキスト

次の企画のテキストをそれぞれ刊行し, 無料で配布した。

1-2-6-1. 北海道支部企画

「21世紀の物理教育: 物理の授業をもっと面白く」 A4判 86ページ 160部刊行

1-2-6-2. 理事会企画

「カーボン原子があやなすナノの世界」 B5判 62ページ 500部刊行

1-2-6-3. 大阪支部企画

「物理学が拓くバイオナノサイエンスの新展開」 A4判 67ページ 400部刊行

1-2-6-4. 京都支部企画

「物理の面白さ大切さを伝えよう—これからの物理教育を考える」 A4判 58ページ 200部刊行

1-2-7. JPSJ CD版

2002年分は注文に応じて作製することとしたが, 未注文であった。

1-2-8. JPSJのSupplements

1-2-8-1. Supplement A to Vol. 72 (2003)

Proceedings of the International Conference on Quantum Transport and Quantum Coherence (Localisation 2002) (量子輸送と量子干渉性) A4判 222ページ

1-2-8-2. Supplement B to Vol. 72 (2003)

Application of Submillimeter Wave Electron Spin Resonance for Novel Magnetic Systems (サブミリ波ESRの新規な磁性体への応用) A4判 183ページ

1-2-8-3. Supplement C to Vol. 72 (2003)

Proc. Waseda Int. Symposium on Fundamental Physics—New Perspectives in Quantum Physics—(量子論の新展開) A4判 200ページ

1-2-9. 本会編の単行本

「ボース・アインシュタイン凝縮から高温超伝導へ」

日本物理学会編 日本評論社発行 A5判 227ページ 本体価格2,300円

1-3. 国際交流・協力

国際交流・協力として, 次のような事業を行った。

1-3-1. AAPPS(アジア・太平洋物理学会連合)の加盟学会として活動支援, 機関誌AAPPS Bulletinの刊行援助, 総会への代表派遣(本年度はSARSのため延期)

1-3-2. ASPEN(Asian Physics Education Network)への協力

1-3-3. 開発途上国からの投稿者へのJPSJ別刷代援助

1-3-4. 開発途上国等へのJPSJの寄贈

1-3-5. IUPAP(International Union of Pure and Applied Physics)への活動支援およびWorkshop(ロンドン)への参加

1-4. 図書雑誌および物理学史資料の供覧

本会所蔵の図書・雑誌, 物理学史資料を会員の利用に供した。

1-5. 第8回論文賞の表彰

JPSJおよびPROGRESSに掲載された論文の中から, 優れた論文5篇を選び表彰した。

1-6. 日本学術会議および文部科学省等への協力

日本学術会議, 物理学研究連絡委員会(物研連)活動への協力を行った。また, 物研連役員と本会役員との懇談会を開催した。

1-7. 総合科学技術会議への声明文

本会, 日本天文学会, 日本地質学会の三学会長名で標記会議へ科学研究費制度に関しての声明文を送った。

1-8. 物理教育・理科教育, JABEE, 男女共同参画等に関する活動

1-8-1. 「理数系学会教育問題連絡協議会」への参加・協力

1-8-2. 「日本技術者教育認定機構(JABEE)」関係

1-8-2-1. 物理・応用物理学関連分野での協力

1-8-2-2. NEDOの補助を受けての海外調査の実施

1-8-3. 男女共同参画関係

1-8-3-1. 男女共同参画学協会連絡会への参加・協力

1-8-3-2. 育児支援制度の整備および科研費等助成申請枠拡大に関する提言

1-8-4. 物理オリンピック関係

本会, 応用物理学会, 日本物理教育学会の三者で検討会を発足させ検討を行った。

1-8-5. 2005世界物理年関係

委員会を設置し対応を始めた。

1-9. 電子化・ホームページ関係

1-9-1. ホームページによる本会の情報公開

1-10. 物理系学術誌刊行協会(IPAP)への運営協力

JPSJの編集について「物理系学術誌刊行協会(IPAP)」への運営協力を行った。

1-11. 本会事務所の移転

本会事務所と倉庫の移転を行った。

1-12. その他

1-12-1. PROGRESS OF THEORETICAL PHYSICS (PROGRESS)

本会との共同により理論物理学刊行会が Vol. 109 No. 1～6, Vol. 110 No. 1～6を刊行した。

B5判, 月刊

ページ数: 総ページ数2,372 月平均197(予算220)

刊行部数: 総刊行部数12,750 月平均1,062(予算1,100)

掲載論文数: 本論文122(うちInvited Paper 2) Letters 13

なお上記のほか Supplement No. 147～152の6冊を刊行した。

2. 処務の概要

2-1. 総会・役員会等に関する事項

2-1-1. 総会

2-1-1-1. 第75回通常総会

3月28日(金)夕方, 初めての試みとして第58回年次大会(東北大川内キャンパス)の会場で開催した。2002年度事業報告書(会員の異動状況報告書を含む)・収支決算報告書, 2003年度事業計画書・収支予算書が原案通り承認された。また, 第60期会長(和達三樹氏), 第59期～60期理事, 第59期～60期監事, 第59期～60期代議員を選出した。

2-1-1-2. 第76回臨時総会

10月18日(土)午後, 機械振興会館で開催した。事務所移転に伴う定款変更が原案通り承認された。

2-1-2. 理事会

下記期日に開催した。

第432回 1月11日 第433回 2月15日 第434回 3月17日

第435回 4月12日 第436回 5月10日 第437回 6月14日

第438回 7月12日 第439回 8月20日 第440回 9月1日

第441回 10月18日 第442回 11月8日 第443回 12月13日

2-1-3. 特別委員会

下記期日に開催した。

2-1-3-1. 会誌編集委員会

1月18日 2月22日 3月22日 4月19日 5月17日 6月21日

7月19日 8月12日 9月6日 10月18日 11月15日 12月20日

2-1-3-2. JPSJ編集委員会

1月21日 2月24日 3月24日 4月22日 5月23日 6月24日

7月23日 8月26日 9月26日 10月28日 11月26日 12月26日

2-1-3-3. 刊行委員会

12月13日

(拡大刊行委員会)3月10日 4月19日 5月31日 7月5日

- 2-1-3-4. 受賞候補等推薦委員会議
1月18日 7月19日 9月13日
- 2-1-3-5. 論文賞選考委員会議
2月20日
- 2-1-3-6. 物理学史資料委員会議
3月24日 7月22日 10月17日
- 2-1-3-7. 物理教育委員会議
2月22日 5月17日 7月5日 8月5日 9月26日 11月29日
- 2-1-3-8. 広報委員会議(10月18日に電子化企画調整委員会から名称変更)
2月17日 4月17日 7月1日 11月5日
- 2-1-3-9. JABEE 委員会議
5月23日 8月25日 11月28日
- 2-1-3-10. 男女共同参画推進委員会議
2月15日 4月5日 5月17日 6月21日 7月28日 8月20日
10月6日 11月20日
- 2-1-3-11. 研究者の環境分析委員会議
2月8日 4月19日 6月14日 7月30日 8月27日 9月18日
10月8日 11月19日 12月26~27日
- 2-1-3-12. 情報システム運用委員会議(10月18日に小委員会から改組)
12月13日
- 2-1-3-13. 分科・領域委員会議
6月4日 11月27日
- 2-1-3-14. 事務局運営委員会議(10月18日に事務局問題特別委員会から名称変更)
5月20日(予備会議として開催)
- 2-1-4. その他
上記のほか会計理事会議および理事会・特別委員会内に設置された小委員会議、大学の物理教育編集委員会、等を必要に応じて開催した。

2-2. 許可、認可および承認に関する事項

申請月日	申請先	申請事項	指令月日
10月20日	文部科学大臣	定款変更(事務所移転に伴う)	10月29日

2-3. 契約に関する事項

契約月日	相手方	契約の種類	期間
9月19日	(株)日本評論社	「宇宙を見る新しい目」出版に関して	—
9月22日	(株)東京洋紙店	「日本物理学会誌」用紙供給に関して	1年

3. 会員の異動状況

会員種別	会 員 数		増 減
	2002年 12月31日現在	2003年 12月31日現在	
正 会 員	18,228 ¹⁾	18,135 ²⁾	-93
学生会員	93	88	-5
賛助会員	102(429口)	103(414口)	1(-15口)
特別会員	973 ³⁾	1,018 ⁴⁾	45
計	19,396	19,344	-52

¹⁾ うち名誉会員 2, 終身会員 610, 大学院生で学生会員会費適用者 2,584

²⁾ うち名誉会員 2, 終身会員 613, 大学院生で学生会員会費適用者 2,059

³⁾ 会誌: 国内 313 国外 5, JPSJ: 国内 202 国外 453

⁴⁾ 会誌: 国内 326 国外 5, JPSJ: 国内 252 国外 435